



NO. 178

2008. 4. 15.

社会福祉法人 大阪市知的障害者育成会

(別名 大阪市手をつなぐ親の会)

大阪市天王寺区東高津町 12-10

大阪市立社会福祉センターB1F

発行責任者 笹野井 庸夫

TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623

新年度を迎え、当育成会でも人事異動がありました。そして、二名の施設長就任があり、また法人事務局に総務部長という職が設けられ、新たな一年がスタートしました。

四月号はその三名のご挨拶を紹介いたします。

『親亡き後のことではなく、

今(こ)から』

地域生活支援センター所長
藤原勇治

この度、平成二十年度定期人事異動にて、地域生活支援センター所長の辞令をいただきました。藤原勇治です。思いもかけない発令でしたので、戸惑い、困惑しているというのが正直な気持ちではございますが、これからも、育成会会員の皆様や法人職員の支えをお借りしながら、一層努力してまいりますので、ご指導・ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

所した年です。新設の港育成園に指導員として採用していただきました。当時は、港育成園を東育成園に負けない良い施設にしようと、職員一人丸となって、がむしゃらに努力してきたことを思い出します。その後、港第二育成園ができ、ワークスいけじま、地域生活支援センターがつけられました。さらに、福島第一・第二育成園が開設されます。そして現在、大阪市知的障害者育成会は市内の知的障害者福祉施設を運営する法人としては、最大規模となっております。このような経過の中、法律の面でも、大きな変遷がありました。措置の時代には始まり、平成十五年からは支援費制度、そして平成十八年か

らは障害者自立支援法が施行されています。

たくさんの施設がつけられ、法律にも変化がありました。今でも変わらないのは、そしてこれからも決して変わってはいけないことは、ご家族が大切なご本人に対して抱いておられる深い愛情であり、ご本人たちが、よりよい、豊かな暮らしを送っていただけるように、関係者が手を取り合って、支えあつていくことなのだと思います。親亡き後のことではなく、今(こ)から、少しでも早く、ご本人とご家族が安心して、住みなれた場所で普通の暮らしができるようになっていくことではないかと思

います。そのために、通勤・地域生活支援センターは何ができるのか、どのような役割を果たさなければいけないのか、若い職員たちと一緒に悩み、歩んでいきたいと思えます。また、ご本人、会員の皆様方と一緒に考えたいと思

ます。そして、大阪市が本当に暮らしやすい地域になることに、大阪市育成会の職員として関わっているよう、誇りをもってつとめたいと思えます。よろしくお願いいたします。

『原点回帰』

福島第一育成園園長
福島第二育成園園長
伊藤 勝啓

この度、四月一日付人事異動によりまして、福島第一育成園の園長として着任し、また福島第二育成園の園長を兼務することになりました。伊藤 勝啓(かつひろ)と申します。

私は学校卒業後、三年間、大阪市立の肢体不自由の養護学校・高等学校の非常勤講師等を経まして、平成七年に育成会に就職し、港第二育成園